

令和6年11月10日発行

私が主役

(写真：十日町総合高校写真部)

CONTENTS

No.83

令和5年度決算審査	2-3P
一般質問	4-9P
議会をPick-Up!	10P
議案の審議結果	11P
政務活動費による活動	12-13P

9月定例会に上程された令和5年度の各会計決算について、決算審査特別委員会を設置し、審査を行いました。

委員会は、鈴木一郎議長と高橋俊一監査委員（議会選出）の2人を除く22人で構成され、より詳細な審査を行うため3つの分科会に分かれ、「決算書」や「主要な施策の成果報告書」などの資料を基に審査し、採決の結果、すべての会計で決算が認定されました。

審査過程での要望・意見について、委員長の審査報告から主な内容をお知らせします。



決算審査特別委員長
村山達也 議員

一般会計の前年度比

歳入 ▲4.6%
歳出 ▲5.3%



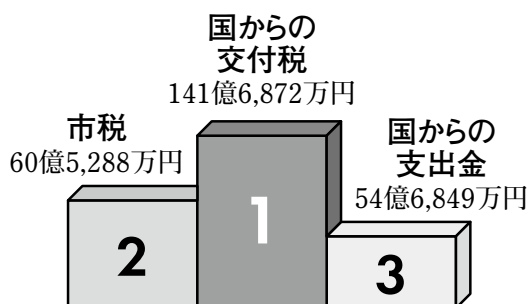
令和5年度決算の詳細は、「市報とおかまち10月号」に掲載されています。

令和5年度各会計収支

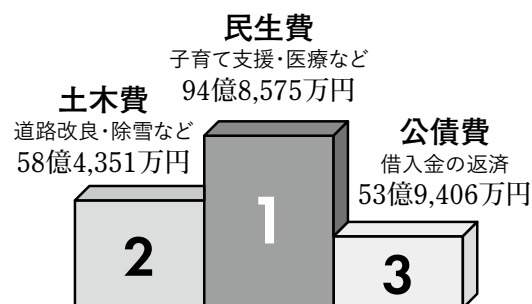
会 計 名		歳 入	歳 出
一 般 会 計		376億2,840万円	356億 999万円
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	50億 847万円	47億9,684万円
	国民健康保険診療所	2億3,604万円	1億6,652万円
	訪 問 看 護	5,135万円	4,147万円
	後 期 高 齢 者 医 療	7億4,463万円	7億2,643万円
	介 護 保 険	79億2,646万円	76億6,155万円
	松之山温泉配湯事業	2,150万円	1,687万円

一般会計と特別会計の歳出合計 490億 1,967万円

歳 入 入ったお金トップ3



歳 出 使ったお金トップ3



第1分科会

民生費 市内で唯一、周産期医療を受けられる「たかき医院」に対し、継続支援と支援金の増額を要望します。

また、企業版ふるさと納税は令和7年3月までの期限措置となつていますが、延長された場合には更なる取組強化をお願いしたい。期限措置が終了した場合には、今まで支援いただいた企業に対して寄附を継続してもらえよう積極的な企画提案に努めていただきたい。

歳入 財源の確保に大きく貢献をしているとおかまち応援寄附金の更なる増収に向けた取組を望みます。

◆一般会計

衛生費 健康づくり推進事業に

ついて、雪国である当市は屋外活動が出来る時期は短く、健康増進に取り組むことは大変重要なことです。市民が楽しく健康づくりに気軽に取り組めるよう努めていただきたい。

令和5年度に初めて取り組んだ「不用食器の回収」に助けられた市民の方は多いと思います。今後も身近な不要物を手軽に回収していただけるような体制を作っていただけるよう要望します。

商工費 清津峡について、花角

知事から新潟県を代表する観光スポットであるご評価いただいているのは、来訪者が多いだけでなく、上質な体験をすることがでるからだと考えます。

清津峡を核として多くの人の流れを生み出し、地域内での回遊性を高め、市内経済の活性化に繋げていくため、観光DXを活用するなど、地域一体となつて来訪者の利便性向上や収益性の向上を図る取組を望みます。

教育費 公共施設の維持管理に

ついては定期的な点検、計画的な修繕をお願いしたい。特に今



第2分科会

後小千谷市との相互利用により市外の利用者の増加が見込まれる情報館においては、雨漏りを簡易的な水受け対策で応急対応している箇所が館内で多く見受けられるため、利用者が安心して利用できるよう計画的な修繕をお願いしたい。

学校給食においては、地域の生産者と連携協力を行い、増強計画を策定して更なる地産地消の取組の拡大を望みます。

また、学校給食を通じて、児童・生徒が地域の農業や食文化に関心を持ち、その理解を深める取組の更なる推進を望みます。

訪問介護特別会計

出向く医療は民間事業者が撤退していく一方、需要は益々高まることが見込まれます。必要な人材及び財源の確保に努め、事業の更なる進捗を望みます。

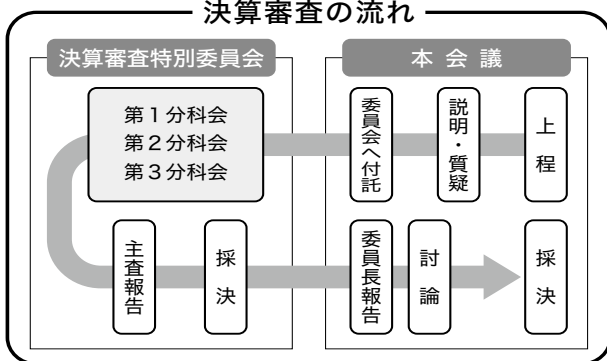
水道事業会計及び簡易水道事業会計

引き続き、経営改善に取り組む、老朽化・耐震化対策を着実にを行うとともに、二段階の値上げ後の状況を踏まえた関連施設の耐震化・更新計画について、適宜市民周知を行うことを望みます。



第3分科会

決算審査の流れ



決算審査特別委員会の目的とは？

決算審査特別委員会において、各会計の予算執行及び公営企業の経営が適正、公平かつ能率的、合理的に行われたか否かを審査し、その結果に市議会の要望や意見を付すことで、今後の予算編成に反映させることを目的としています。

討 論



詳細は、9月定例会最終日の録画中継をご覧ください。



反対 生活改善と経済発展を

一般会計及び後期高齢者医療会計、介護保険会計に反対。物価高騰で市民生活が苦しい中、市政が暮らしと営業を守る役割を果たすべき。芸術祭は事業費の縮減と委託契約、作品のあり方等の透明性と市民主体を求める。後期高齢者医療、介護保険は受益者の負担増が進んでいて問題がある。

(滝沢繁議員)

賛成 決算に対する賛成討論

ポストコロナの時代に移行し、地域経済の再始動や地域コミュニティの新たな活動に対し何が必要なかを検証し、将来世代への負担軽減も考慮した事業計画を適正に執行されました。その結果、充実した支援や市債残高の減少、財政調整基金残高の増加へ繋がった決算だったと思います。

(中林寛暁議員)

ココが聞きたい! 一般質問

一般質問は、議員個人が問題意識を市政に投げかけ、市の見解を直接求めることができる唯一の機会です。今回は、11人が私たちの生活に関わることについて質問をしました。

質問議員	質問事項	ページ
星名大輔	清津峡を核とした観光振興・中学校再編とスクールバスについて	4
村山達也	教訓に学ぶ災害対策・不登校の支援策について	5
滝沢 繁	食と農の町おこしと獣害対策について	5
富井春美	訪問介護の基本報酬引き下げ撤回の声を	6
宮沢幸子	犯罪被害者等支援条例の制定・子宮頸がんワクチン接種	6
水落静子	中越地震から20年、安全安心な暮らしを守る防災設備、対策	7

質問議員	質問事項	ページ
滝沢 貞親	「たっしやで100」後継事業、給食コシヒカリ使用ほか	7
中林 寛暁	歴史伝統文化の継承・人口減少対策事業のPR	8
嶋村真友子	まったなし! 気候変動対策と命と健康を守る熱中症対策	8
高橋 俊一	会計年度任用職員及び非正規雇用労働者について	9
鈴木和雄	ワクワクするような学校づくりで持続可能な地域へ	9



清津峡を核とした観光振興・ 中学校再編とスクールバスについて

星名大輔 議員



質問 清津峡周辺は、繁忙期には渋滞が生じるほどの混雑となっています。①オーバーツーリズムの現状と対策をお伺いします。②変動料金制を含めた入坑料金の見直しについてお伺いします。

答弁 令和3年度から、夏休みや紅葉時期などの繁忙期を対象に、トンネル入坑者を1日2500人に制限する事前予約制を導入しました。しかし、昨年度、事前予約日ではない日に約4000人が訪れ、国道353号が渋滞し、住民や来訪者にご迷惑をおかけしたことから、事前予約制の内容を見直し、混雑回避に努めています。また、道路の狭さが渋滞要因であるため、県に早期の改良を要望しており、他にも誘導員の配置や国道の電光掲示板での渋滞の注意喚起など対策を図っています。

②利用料金の上限額の引き上げについて、今後、市議会にご提案させていただきます。また、変動料金制の導入についても、里山現代美術館MONEYT(モネ)を参考に、指定管理者である株式会社なかさとと協議、検討していきます。

質問 中学校再編に伴い、市内全域からの通学となる場合には通学負担の増

加が避けられません。スクールバスの車内も「学校」と捉え、生徒が各々有意義に過ごせるよう車内環境を整備するか、考えをお伺いします。

答弁 スクールバスには全て空調設備が備わっており、路線バスを除き、全員が座席に座って登下校をしています。今後も快適な車内環境の整備に取り組んでいくとともに、車内でタブレット端末を活用して学習に取り組めるように、Wi-Fiの整備を行うなど、乗車時間を有効に活用できるよう、車内の学習環境づくりにも努めたいと考えています。



渋滞する清津峡周辺道路



教訓に学ぶ災害対策・ 不登校の支援策について

村山 達也 議員



質問 災害対策は教訓に学ぶ事が重要と考え伺う。①Jアラート連携や遠隔操作で開く鍵保管庫など、避難所の解錠方法の多重化が必要ではないか。②市は自主避難所に対しどのように考え支援や指導をしているのか。③道路寸断による集落の孤立を懸念している。ドローンによる救援物資輸送を準備しているのか。④避難所トイレは断水や停電でも使えるようになっていないのか。

答弁 ①導入自治体での効果や課題を確認したうえで検討します。②分散避難という考え方で、住民自身の判断で指定避難所以外に避難する方法があります。水害時などに自宅が安全であれば自宅上階に留まることも選択肢の一つです。過去の震災では車中泊や知人宅への避難もありました。行政として情報提供と分散避難の考え方の普及を進めてまいります。③ドローンによる救援物資運搬について、各業界が持つ技術の活用を検討してまいります。④市では飲料水のほか、トイレ用の水も備蓄しています。また、市内の湧き水等をトイレ用に使うなど、給水車以外の給水方法も検討してまいります。



屋外に設置。
J-ALERT連携や遠隔操作で開く鍵保管庫の一例



食と農の町おこしと 獣害対策について

滝沢 繁 議員



質問 十日町の農業者の平均年齢は71・3歳です。10年後の農業は誰にゆだねるのか。具体的道筋をつけることのお考えは。

答弁 中山間地農業において、農作物の付加価値をビジネスチャンスとして捉える新たな担い手が増えています。若い農業者は、スマート農業や独自の販路開拓に取り組んでおり、市はこれらの挑戦を応援し、先輩農業者が支えていく中で地域農業が持続・発展していくことを期待しています。

質問 食糧農業農村基本法の受け止めは。

答弁 食料・農業・農村基本法は政策の方向性を示す理念法であり、新たな基本計画が国から公表されたのちに、当市において、その内容を農政にどう活かすか検討してまいります。

質問 千葉県いすみ市は2013年から有機米生産に取り組み、その販路を学校給食に求め、子どもたちは喜び、農家の収入も増加、給食に有機米導入が噂となり移住者が増え、市の株が上がっています。当市でも取組を進めては。

答弁 学校給食での有機米の利用は、需要と供給のバランスが大前提ですが、



イノシシよけの電気柵設置状況

有機米の生産拡大に向けた有力な手段と考え、市の支援も視野に入れながら、JA魚沼と共に検討してまいります。

質問 獣害対策は待ったなし、電気柵と猟友会の支援強化が何より大事と考えるがいかがか。

答弁 電気柵設置支援について、農作物被害や過去の申請状況を考慮し、予算を確保します。なお、国の交付金を活用した電気柵整備事業もありますので、制度の活用を検討される場合は市にご相談ください。猟友会への支援については、謝礼や捕獲報酬の増額、射撃場の建設支援なども行っています。市は引き続き、猟友会や関係機関と連携し、農作物被害の防止に努めます。



訪問介護の基本報酬引き下げ 撤回の声を

富井 春美 議員



質問 十日町市の高齢者人口、高齢化率の推移とその影響は、どのようなものか。

答弁 現在の高齢化率は約42%ですが、令和27年までには49%くらいまで上昇すると推計しています。要介護者を支える年齢層である15歳から64歳の生産年齢人口は減少し、令和22年頃には高齢者人口と逆転すると見込んでいます。

また、要介護認定者数については、4千人前後で暫く横ばいで推移し、将来的に高齢者人口の減少が進むと認定者数も減少すると見込んでいます。

質問 訪問介護の基本報酬の引き下げは、人材確保に影響するのではないか。

答弁 報酬改定の影響は経過を注視する必要があります。また、訪問介護員は、有資格者や実務者研修、初任者研修受講者である必要があるため、事業所の人材確保は厳しい状況とされています。事業所等のヒアリングを通して市としてすべきことを探ってまいります。

質問 訪問介護事業所の減少は、訪問介護の人手不足を生じ、介護に困る家庭や介護離職が出るのではないかと。

答弁 希望する介護を受けられない方が多い現状は把握しています。特に施設入所系においては、要介護3の方

も入所できない方が多いと伺っており、この状況はしばらく続く可能性がります。市では特養施設の増床を事業者

にお願いし、逼迫した状況を緩和できるよう調整しているところです。

質問 訪問介護の基本報酬引き下げ撤回と国庫負担金の引き上げの声を上げていく必要があると考えるが、市長の考えはいかがか。

答弁 国には、私たちの暮らしを支えている介護従事者にもっと光が当たる政策を実施してほしいと考えています。市においては、事業所の経営者の皆様からも話を伺い、対応してまいります。

●高齢者人口の推計と訪問介護利用人数の推移及び見込み

	令和2年	令和7年	令和12年	令和17年	令和22年	令和29年
総人口(人)	49,820	44,799	40,416	36,402	32,702	29,262
高齢者人口(人)	19,856	19,039	17,633	16,354	15,474	14,352
高齢化率(%)	39.9%	42.5%	43.6%	44.9%	47.3%	49.0%

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和22年度
訪問介護利用人数(人)	401	398	381	381	384	378	372

(第9期介護保険事業計画より)



犯罪被害者等支援条例の制定・子宮頸がんワクチン接種

宮沢 幸子 議員



質問 犯罪被害者等支援法は個人の尊厳が重んじられ、被害者の相談窓口、緊急支援金の給付など多岐にわたる支援が可能となります。被害者の抱り所となる条例を制定すべきと考えます。

答弁 犯罪被害者等支援のための条例制定の重要性については、十分認識しております。平成21年に十日町市犯罪のない安全・安心なまちづくり条例が制定されており、この第19条の中に犯罪被害者等に対する支援が謳われております。当時は、この条文で対応しているものと判断したところでした。しかし、県内市町村でも条例化の動きが広まってきていることから、犯罪被害者等支援条例の制定に向けた準備を進め、今年度中に提案できればと思っております。

質問 子宮頸がんワクチンが無料で接種出来る対象者への期限は今年度末に迫っています。キャッチアップ接種や高校1年生への個人通知の発送や年度を超え接

種した場合の市の費用負担を望みます。

答弁 キャッチアップ接種については、この3年間にわたり案内を行っており、今年度中に接種していただくよう改めて周知していく考えです。また、今年の高校1年生に対しては、9月中旬に1回目の接種を受けないと、来年3月までに3回目の接種を完了するのが難しくなりますが、残りの半年間でできる限りの接種を呼びかけていきたいと考えています。そのうえで、規定回数に達しなかった方については、新年度予算編成の際に対応策を検討する考えです。

種した場合の市の費用負担を望みます。

HPVワクチンについて知ってください

すべてのワクチンの接種には、効果を得る必要があります。まずは、お住まいの自治体の保健所、子育てのひろば保健所についてお聞きください。詳しくは、保健所のホームページをご覧ください。

HPVワクチンを受けることを希望する場合は

小学3年生～高校1年生の女の子は、HPVワクチンを接種していただけます。市町村で接種し、接種記録が確認されます。ワクチンの接種は年齢によって、接種回数や接種時期が異なります。詳しくは、保健所のホームページをご覧ください。

HPVワクチンについて、もっと詳しく知りたい方は

この案内の裏面にQRコードが貼られています。QRコードを読み取ると、保健所のホームページが表示されます。詳しくは、保健所のホームページをご覧ください。

十日町市役所 健康づくり推進課 母子保健係
電話：025-757-9759



中越地震から20年、安全安心な暮らしを守る防災設備、対策

水落 静子 議員



質問 20年前の新潟県中越地震以降の当市の防災対策について伺います。

答弁 当市は、観測技術や情報通信技術の進展に合わせ、防災行政無線の導入やJアラート、エリアメールなどの

利活用や、地域防災計画の策定と改定、指定避難所の見直し、防災訓練の実施、耐震診断・耐震改修の推進などを行って

きました。中越地震を契機に自主防災組織の設立を呼びかけた結果、設立割合は98・9%になっています。被災の教訓を風化させないよう、市民や関係団体、関係機関と連携し、災害への総合的な備えを進めてまいります。

質問 大地の芸術祭、正月、お盆、雪まつりなど観光客への安全対策を伺います。

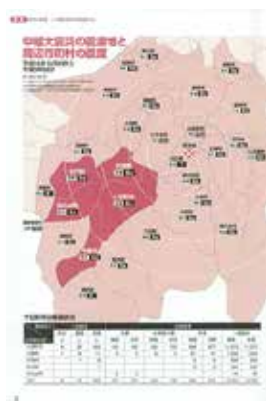
答弁 大地の芸術祭などでの訪問者、観光客への安全対策として、作品施設を対象とした災害発生時の対応マニュアルを作成しており、地震発生時の初動対応をはじめ、各作品から最寄りの避難所やハザードマップの情報など、スタッフ間で情報共有することで安全安心の確保に努めています。

質問 福祉施設での防災対策について伺います。

答弁 自主防災組織で行う避難訓練に



中越大震災
十日町市記録集「あしたへ」(平成19年発行)



において、町内の消防団や福祉施設の方々と連携して実施するようにお願いしており、幅広い連携を行った中で、誰一人取り残さない防災の実現を進めていく考えです。

質問 災害を「忘れない」「語り継ぐ」観点からの教育についての取組をお伺いします。

答弁 市内の学校では、中越地震など大規模災害を想定した避難訓練を防災教育の年間指導計画に位置づけて実施しています。また、中越地震当時の自校区内の被害状況等を学習したりする学校もあります。



「たっしやで100」後継事業、給食「コシヒカリ」使用ほか

滝沢 貞親 議員



質問 「たっしやで100」終了後の後継事業内容について、その進捗状況、予算措置等について伺う。

答弁 市では、余暇活動を介護予防の場とし、活動内容を把握しながら専門家を派遣し、介護や認知症予防に取り組んでいます。また、新たな参加者拡大のため、メディアを活用して地域活動団体の情報発信を進める予定です。

さらに、十日町社会福祉協議会と連携し、介護予防につながる独自事業への支援枠を設け、団体の活動強化を応援していきます。なお、費用面については、財源も含めてしっかりと試算し、新年度予算に向けて対応していきます。

質問 市内小中学校給食における「コシヒカリ」提供について、その経過及び現状と、全量「コシヒカリ」にした場合の費用負担額、全量移行の可能性について伺う。

答弁 現在、学校給食の主食は月1回の麺類を除き、すべて米飯で提供しており、月4回は市内産コシヒカリを使用しています。全量コシヒカリとした場合は、市の負担額は年間328万円となり、全量移行については、子どもたちや教職員への聞き取りなども含め研究を進めていきたいと思っています。

質問 十日町病院分娩休止に伴い、役割移行した「たかき医院」へのこれまでの支援及び現状と、今後必要となる支援について伺う。

答弁 市では令和5年度より分娩に携わる医師の雇用に対する支援のほかに当該医院に対し救急搬送用保育器の購入費助成を今年度予算に計上しています。医院の現状においては医療機器の更新を要するものがあるほか、人的体制は、常勤医師2名、看護師と助産師が各6名と伺っています。今後とも医院の実情をお聴きしながら、必要により支援内容を見直し、実効性のある対応を目指してまいります。



学校給食には

地元産コシヒカリ！



歴史伝統文化の継承・人口減少対策事業のPR

中林 寛 議員



質問 独自の歴史・伝統文化などを築き発展してきたこの当市には、地域により特有の歴史・伝統文化を有しており、地域や学校で子どもたちに伝えてきました。今後、学校の統合などにより、学校で学ぶ機会が減り、地域任せになっていくのではないかと懸念しているがどのように考えているか。

答弁 地域の歴史や文化を未来に継承するには、それらを学ぶ教育活動を進めることが重要と認識しています。学校では学習指導要領に基づき、小学校3・4年生を対象に地域の伝統や歴史、まちづくりに関する学習を行っており、令和5年度の全国学力・学習状況調査では、当市の小学生の85・4%、中学生の53・3%が地域の行事に参加しており、全国平均をそれぞれ27・6ポイント、15・3ポイント上回っています。

引き続き児童生徒のふるさと愛や歴史・文化の継承意識を高めるため、地域に根ざした教育活動を推進していきます。

質問 県内トップクラスの移住支援や充実した子育て支援を行っているが、市内外へのPRが不足しているのではないか。

答弁 移住コンシェルジュでは、主に

SNSを活用した情報発信を行っていますが、来訪者向けに子育てや移住支援について他市が行っているような、のぼり旗によるPR活動の実績はありません。現在は、5月の二十歳のつどいで、移住コンシェルジュが新成人に向けたPRの機会を設けており、また、大地の芸術祭では、まつだい駅のふるさと会館において移住者向けのチラシを配布しています。のぼり旗やポスターといった視覚的な媒体も有効であると考えており、今後は他市の事例を参考にし、より効果的な伝達方法を検討していきます。



各地で行われる火焼き行事



まったなし! 気候変動対策と命と健康を守る熱中症対策

嶋村 真友子 議員



質問 熱中症対策について①食事指導はあるか②めぐらんの利用者にアンケートをとってはどうか。

答弁 ①食生活改善推進委員の活動の中で経口補水液の研修を行っており、今後は熱中症予防に有効な健康レシピの作成をご検討いただくように考えています。また、健康診断で保健指導の対象となった方への食事指導にも熱中症予防を取り入れていきたいと思っています。②現在、めぐらんどではご意見箱を設置し、利用者の意見を広く集めております。今後さらにそれを活用するとともに、状況を見ながら必要に応じて生の声を聞かせていただく機会を設けたいと考えています。

質問 温暖化対策が進まない要因をどう考えるか。

答弁 温室効果ガス排出量の基準値は2013年の33万トンで、8年間で約13万トン減少し、現在の排出量は20万トンです。市は2030年までに46%の18万トン削減し、2050年には排出量の実質ゼロを目指しています。なお、人口減少が排出量の減少に寄与している面もありますが、森林の吸収量は約6万トンで、これを活用して排出量をオフセットできる可能性があります。



新潟県脱炭素ポータルサイト「2050 新潟カーボンゼロチャレンジ」より

ます。国の指標や森林整備の影響を精査し、最新の数字を市民の方々と共有し、具体的な目標設定を提示する作業を進めていきたいと考えています。

質問 市民環境会議を中心に中高生、生産世代と環境について意見交換をできる場をつくってはいかがか。

答弁 市内の小中学校には温暖化対策に一生懸命取り組んでいる学校もあります。また、県のエコチャレンジに参加している方もいらつしやいます。このような方々と市民環境会議及び市が情報共有しながら、よりよい取組ができればと思っています。

会計年度任用職員及び非正規
雇用労働者について

高橋 俊一 議員



質問 地方自治体で働く非正規公務員である「会計年度任用職員」の、次年度の再任用にあたって、勤務年数にかかわらず、勤務実績による能力実証を図っているか。また、専門的・本格的業務に携わっている者に対し、正職員への採用を促しているか。

答弁 会計年度任用職員の任期は通年雇用で最長1年間ですが、任用理由となっている業務の有無や勤務成績により最大4回まで更新しています。しかし、今年度、国が任期更新の上限回数を撤廃したため、当市も同様に撤廃します。また、正職員の採用にあたっては、地方公務員法で競争試験または選考によるとされているため、募集要件を満たす職員からは積極的に採用試験に挑戦してほしいと考えています。

質問 会計年度任用職員の手当、休暇制度、福利厚生、共済制度などについて、正職員との均等待遇を図っているか。

答弁 手当は、令和2年度から期末手当、今年度から勤勉手当が支給され、各支給月数は再任用職員と同じです。休暇は、正職員とほぼ同様ですが、一部取得できないものや有給・無給の差があります。夏季休暇について、今年

度から正職員と会計年度任用職員とも最大5日間に見直ししました。福利厚生面では、令和4年10月から、週20時間以上勤務する会計年度任用職員も共済組合に加入できるようになり、正職員とほぼ同じサービスを受けています。

質問 正職員と会計年度任用職員で男女割合が反転している現状をどのようにとらえるか。

答弁 会計年度任用職員は、子育て世代の女性が多数を占めており、男性については65歳の比率が高い状況です。さまざまな職種にさまざまな立場の方から応募があり、適材適所で業務を担っていただいています。

愛知県みよし市における
令和6年度 会計年度任用職員のあり方の
見直し(一部)

- ・会計年度任用職員数を漸減し、正規職員を増加
- ・一般事務職の年度途中(R6.10.1)面接のみでの採用を実施
- ・会計年度任用職員の報酬を時給9.5%の引き上げ
- ・年収の壁に捉われず、常勤職員に近い勤務形態で働ける職員の積極的な任用
- ・市役所の開庁時間を45分間短縮

(以上令和6年2月みよし市臨時記者会見より)

高橋俊一議員作成



ワクワクするような学校づくりで持続可能な地域へ

鈴木 和雄 議員



質問 ①旧町村にあり続けてきた中学校は、まちづくりどんな役割を果たしてきているのか。②学校は教育委員会の所管事項ですが、総合教育会議を通しての総合的な判断を伺う。

答弁 ①市内に中学校は10校あり、各地域の特色を生かした教育が行われています。地域との交流を通じて、教育の質の向上が図られるとともに、地域に貢献できる子どもたちの育成にもつながっていると思います。また、地域にとっても、伝統文化や行事が継承されることで、地域の活性化につながっていると感じています。②子どもたちや地域のことも踏まえて学校の在り方を考える時期にあるので、中学校のあり方検討委員会での提言をベースに議論を深めていただき、結論を出すということが大事であると思っています。

質問 ①教職員の人事権は県教委ですが、法の定めは、地域の実態に合わせ、学級編成し県に報告するとなっている。②今年度は163名の生徒が市外に通学している。少子化が問題なのであれば多様化に配慮する学校づくりが第一でないか伺う。

答弁 ①教職員の人事権は、県教育委員会にあり、学校規模やクラス編制に応じた教職員配置が行われています。当市を含む魚沼や県北地域は教員確保が困難な地域であり、当市の教職員のうち地元在住は約4割で、6割は他地域在住の教員となっています。規定がより弾力的に運用されるよう、毎年、県に訴えているところです。②市外に通学している理由はさまざまですが、今後、市内の学校に目を向けてもらうため、魅力的な学校づくりが重要だと考えています。わくわくするような新しい学校を目指して検討していきたいと思っています。

各都府県教育委員会教育長 殿

文 初 財 4 3 1 号
昭和48年9月27日文部省初等中等教育局長
文 部 省 管 理 局 長

公立小・中学校の統合について

学校統合の方策については、昭和三十一年に「公立小・中学校の統合方策について」(昭和三十一年一月十七日付文部財第五〇三三号文部事務次官通達)をもって通達されているところであり、教育委員会におかれても貴管下市町村に対して御指導を願ってきたところでありますが、その後の実施状況にかんがみ、なお下記のような事項に留意する必要があると考えられますので、貴管下市町村の指導につき一層の御配慮をお願いします。

記

- 1 学校統合の意義及び学校の適正規模については、さきの通達に示しているところであるが、学校規模を重視する余り無理な学校統合を行い、地域住民等との間に紛争を生じたり、通学上著しい困難を招いたりすることは避けなければならない。また、小規模学校には教職員と児童・生徒との人間的ふれあいや個別指導の面で小規模学校としての教育上の利点も考えられるので、総合的に判断した場合、なお小規模学校として存続し充実するほうが好ましい場合もあることに留意すること。
- 2 ① 通学距離及び通学時間の児童・生徒の心身に与える影響、児童・生徒の安全、学校の教育活動の実施への影響等を十分検討し、無理のないよう配慮すること。
- ② 学校統合を計画する場合には、学校の持つ地域的意義等も考えて、十分に地域住民の理解と協力を得て行うよう努めること。
- ③ 統合後の学校の規模が相当大きな場合や現に適正規模である学校について更に統合を計画するような場合は、統合後の学校における運営上の問題や児童・生徒への教育効果に及ぼす影響などの問題点をも慎重に比較検討して決定すること。

平成27年1月に文部科学省が新たな手引きを策定したことに伴い、平成27年1月27日に本通知は廃止されています。

9月定例会

● 議会をPick-Up!

令和6年第3回定例会
会期 9月4日～20日
審議の結果は、11ページに掲載

9月の定例会は、市長提出議案23件、議会提出議案1件を審議しました。

Pick-Up
01

一般会計補正予算〔第6号〕

〔主な事業および内容〕

● 星峠活性化支援事業

ふるさと納税を活用し、棚田を含めた星峠地区の活性化に向けたプランの策定や、地区の活動に要する費用に對し支援を行います。



● 特定地域づくり事業協同組合支援事業

十日町市複業協同組合TOMOWORK（トモワーク）において、新たに4名の派遣職員の採用が見込まれることから、人件費の一部を補助します。

● 住民税非課税世帯給付金事業

令和6年度に新たに住民税が非課税または均等割のみ課税となった世帯に對し、一世帯あたり10万円を支給します。

● 住民税非課税等世帯子育て世帯給付金事業

令和6年度に新たに住民税が非課税または均等割のみ課税となった子育て世帯に對し、子ども一人当たり5万円を支給します。



低所得の非課税世帯
10万円給付



低所得者の子育て世帯
子ども一人当たり5万円給付

● 病児・病後児保育事業

病気の急性期や回復期にある児童を、保護者に代わって保育園等で保育する病児・病後児保育事業について、国の基準額が改定されたことから、事業費を増額します。



● 定期予防接種事業

新型コロナウイルスワクチンの価格見直しに伴う費用の超過分を追加し、引き続き、市民の感染症の重症化と蔓延の予防に努めます。



● キナール管理経費（温浴棟）

経年劣化により、外壁の木材が剥がれ落ちるなどの危険性が生じたため、安全に気持ち良く温泉が利用できるよう、改修工事を行います。



● 教育系ネットワーク管理費
小中学校で使用している「校務支援システム」を、新潟県内で統一することで、人事異動などに伴う、教員の業務負担の軽減を図ります。

● まつだい芝峠温泉管理経費

脱衣室の床の張替えなど、施設の老朽化に伴う修繕等を行うことで、安定した誘客の促進につなげます。



● 文化財保存活用地域計画策定事業

11月に開催予定の「計画認定記念シンポジウム」において、幅広く市民が参加できるように、内容を拡充して開催します。

● 農業施設災害復旧経費

地震等の影響による農地・農業用施設の災害復旧への対応や、今後の豪雨等の災害に備えるための経費を増額します。

Pick-Up
02

条例の制定・見直し

〔主な内容〕

● 十日町市避難行動要支援者名簿情報の提供に関する条例の制定

避難行動要支援者を災害から保護することを目的に、災害対策基本法に基づく避難行動要支援者名簿の事前配布を促すため、名簿情報の提供に不同意の意思を表示した避難行動要支援者以外の名簿を避難支援等関係者に提供できるように新たに条例を制定します。



小千谷市

十日町市

Pick-Up
03

協定の締結

● 十日町市手数料条例の一部改正

マイナンバーカードを利用したコンビニエンスストアでの「戸籍、住民票、印鑑証明、税（所得）証明」の交付手数料を、令和7年4月から窓口と同額にします。

● 十日町情報館及び小千谷市ひと・まち・文化共創拠点の相互利用に関する協定の締結

小千谷市に図書館機能を含む新しい複合施設として令和6年9月28日に開館する時期に合わせ、小千谷市と十日町市との間で、両市民の図書館の相互利用ができるよう協定書の締結を行います。

9月定例会 議決結果

議案番号等	件名	付託委員会	採決状況	議決結果
市長提出議案	83 専決処分の承認について（令和6年度十日町市一般会計補正予算（第5号））	—	賛成多数	承認
	84 十日町市避難行動要支援者名簿情報の提供に関する条例制定	総務文教	全員賛成	原案可決
	85 他の団体の公の施設の利用に関する協議	総務文教	全員賛成	原案可決
	86 十日町市手数料条例の一部を改正する条例制定	厚生	全員賛成	原案可決
	87 十日町市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定	厚生	賛成多数	原案可決
	88 十日町市老人医療費助成に関する条例の一部を改正する条例制定	厚生	賛成多数	原案可決
	89 十日町市重度心身障がい者医療費助成に関する条例の一部を改正する条例制定	厚生	賛成多数	原案可決
	90 令和6年度十日町市一般会計補正予算（第6号）	—	全員賛成	原案可決
	91 令和6年度十日町市国民健康保険診療所特別会計補正予算（第2号）	—	全員賛成	原案可決
	92 令和6年度十日町市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）について	—	全員賛成	原案可決
	93 令和6年度十日町市介護保険特別会計補正予算（第2号）	—	全員賛成	原案可決
	94 令和6年度十日町市水道事業会計補正予算（第2号）	—	全員賛成	原案可決
	95 令和6年度十日町市簡易水道事業会計補正予算（第2号）	—	全員賛成	原案可決
	96 令和5年度十日町市一般会計歳入歳出決算認定	決算審査特別	賛成多数	認定
	97 令和5年度十日町市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	決算審査特別	全員賛成	認定
	98 令和5年度十日町市国民健康保険診療所特別会計歳入歳出決算認定	決算審査特別	全員賛成	認定
	99 令和5年度十日町市訪問看護事業特別会計歳入歳出決算認定	決算審査特別	全員賛成	認定
	100 令和5年度十日町市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	決算審査特別	賛成多数	認定
	101 令和5年度十日町市介護保険特別会計歳入歳出決算認定	決算審査特別	賛成多数	認定
	102 令和5年度十日町市松之山温泉配湯事業特別会計歳入歳出決算認定	決算審査特別	全員賛成	認定
	103 令和5年度十日町市水道事業会計利益の処分及び決算の認定	決算審査特別	全員賛成	認定
	104 令和5年度十日町市簡易水道事業会計利益の処分及び決算の認定	決算審査特別	全員賛成	認定
	105 令和5年度十日町市下水道事業会計利益の処分及び決算の認定	決算審査特別	全員賛成	認定
議会提出議案	5 議員派遣	—	全員賛成	原案可決

賛否等の状況

賛否が分かれた議案のうち、起立採決等により個々の賛否が明らかな議案について掲載。（○：賛成、×：反対、—：欠席）
※鈴木一郎議員は議長職のため、特別多数議決以外の議案については表決（賛成・反対の意思表示）権はありません。

議案番号等	議決結果	賛成	反対	かがやき					しんちょう 伸 暢			令和の風					日本共産党 十日町市議団			しんせい 新 成 会				無 会 派			
				村山達也	富井高志	水落静子	関口立之	山家悠平	高橋俊一	鈴木祐一	吉村重敏	根津年夫	山口康司	星名大輔	大嶋由紀子	遠田延雄	鈴木和雄	滝沢繁	富井春美	福崎哲也	中林寛暁	宮沢幸子	小嶋武夫	小林正夫	滝沢貞親	嶋村真友子	鈴木一郎
83	承認	22	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	※		
87	原案可決	20	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	※	
88	原案可決	20	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	※	
89	原案可決	20	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	※	
96	認定	20	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	※	
100	認定	20	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	※	
101	認定	20	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	※	

お知らせします!

令和6年度 政務活動費申請状況

十日町市では、市議会議員の市政に関する調査研究のために必要な経費の一部として、交付申請を行った会派※に対し政務活動費を交付しています。

交付額は会派に所属する議員1人につき年額15万円を交付しており、地方自治法と十日町市議会政務活動費の交付に関する条例に基づき、適正に取り扱っています。

※所属議員が1人の場合も含みます。

● 政務活動費交付申請一覧

会 派	所 属 議 員	交 付 額 (円)
か が や き	村山達也、富井高志、水落静子、関口立之、山家悠平、鈴木一郎	900,000
令 和 の 風	根津年夫、山口康司、星名大輔、大嶋由紀子、遠田延雄	750,000
新 成 会	福崎哲也、中林寛暁、宮沢幸子、小嶋武夫	600,000
日本共産党十日町市議団	鈴木和雄、滝沢 繁、富井春美	450,000
伸 暢	高橋俊一、鈴木祐一、吉村重敏	450,000
虹 の 輪	嶋村真友子	150,000
だ い ち	小林正夫	150,000
い ぶ き	滝沢貞親	150,000
合 計		3,600,000

政務活動費による活動の一部を紹介します。

※他の会派は次号に掲載します。

かがやき

5月14日、東京都葛飾区の東京シューレ葛飾中学校を訪ね、不登校の子どもに教育の場を提供する「学びの多様化学校」の現状を視察しました。ここに通う生徒は、「自分が自分を育てる」という考えを持ち、学校への通い方から昼食を食べる場所まで自己決定を尊重することで、もと不登校だった生徒も安心して学校生活を送ることができるとのこと。結果、好きなことを存分に学ぶことができ、優れた多くの人材を社会に送り出しています。生徒の表情は自然で生き生きとした印象で、改めて学校や教育のあり方について思いを巡らせました。

続いて5月15日からは、沖縄県久米島町にて主に海洋深層水の利用の現場を視察。まず、沖縄県が新たな産業振興を目的に研究開発を重ねる「沖縄県海洋深層水研究所」で海洋温度差を利用した発電という、再生エネルギーの新しい活用方法を示唆する技術を見学し、続いて海洋深層水の栄養価が高くて雑菌が少なく、かつ温度が低い性質を活用した養殖の現場を視察しました。健康食品やバイオ燃料に利用する微細藻類、高品質の海ぶどう、真夏でも鮮度を保つことができる牡蠣の陸上養殖と、自然の資源を新たな視点で見直すことで思いもよらない技術を開発し、新規ビジネスに繋げる可能性の大きさを学ぶことができました。



令和の風

令和の風では、8月29日に新しい福祉施策を研究するため、埼玉県久喜市にあるスポーツ60&スマートを視察しました。同施設はスポーツ実施率の向上及びフレイル予防プログラムの構築のための研究を行っています。商業施設内にあるので買い物ついでに野球、サッカーなど20種類以上のスポーツを体験できます。デジタルを活用することによって、既存の運動教室にはない楽しみ方で介護予防につながる運動を気軽にすることができ

ます。

また、8月30日にはひとり親家庭の支援策を研究するため、石川県金沢市にあるNPOシンママ応援団を視察しました。養育費については、受けたことがないが57%に対し、受けたことがあるは14%に留まるという調査結果があります。さらに日本のひとり親家庭の相対的貧困率は先進国で最悪のレベルとのことです。同NPOではホームページやSNSで情報発信をしており、孤立しないようひとり親の交流会や、体験格差を生まないよう母(父)子で楽しめるキャンプイベントを開催しています。学校が苦手な子ども達には居場所となるフリースクールを開校しています。シングルマザーから自信をつけて明るく次に進んでほしいとの思いから、ITスキルが身に付く就労支援にも力を入れています。



新成会

7月22日から24日の3日間で、宮崎県都城市を視察しました。都城市では「十年後から人口増加へ」という方針のもと、子育て支援、移住支援に力を入れています。取組の1つとして、子育て支援、移住支援のPRを市内いたるところで行っており、市民はもちろん、市外に住んでいる子育て世代へのアプローチにもつながり、人口増加の効果をもたらしたようです。当市も子育て支援、移住支援については力を入れており、財源面を比較しても、当市は都城市に負けない支援を行っているところですが、都城市はこれらの取組により、それまで毎年約千人の人口減が続いていましたが、十年後に設定していた人口増加の目標を、昨年に早くも達成したとのことでした。

この後、「都城三股農福連携協議会」の研修を受けました。この協議会は通常の農福連携とは異なり、農業と福祉に医療機関が加わった三者連携で構成され、軽度の農作業を通じて身体機能の回復や維持を図り、認知症の改善予防に繋がる取組として、国のモデル事業にもなっています。事業内容はもちろん勉強になりましたが、認知症患者に対し、医師や家族が「認知症」というレッテルを貼ってしまうと、かえって症状が悪化してしまうという話が特に印象に残りました。





8月25日(日)
十日町おおまつりの大民謡流し



9月7日(土)
ユニバーサルポッチャ十日町CUP2024

議会活動・議員有志による
イベント参加の様子



5月17日(金)
道路改良事業ほか市内現地視察会



6月9日(日)
市消防団春季合同演習

ラジオ「FMとおかまち」(78.3MHz)で
一般質問を放送しています!
一般質問をした当日、夕方7時から放送
していますので、ぜひお聴きください。

インターネットで
本会議の様子を配信しています!



本会議の模様を生中継・録画中継
しています。ホームページからアク
セスしてください。スマートフォン、
タブレットでも!



十日町市議会

検索

市議会の詳しい情報は、
十日町市議会のホームページを
ご覧ください



表紙写真について

今号の表紙は十日町総合高校の作品です。



十日町総合高校写真部

十日町総合高校の写真部は3年生2人、2年生3人、1
年生1人で活動しています。とても少人数ですが、先輩・
後輩関係なく元気に楽しく活動しています。主に学校行事
での撮影や展示会・コンテストへの出品、撮影会などに参
加しています。写真の魅力は自分が日常で見た景色が作品
になることです。皆さんも写真に興味を持っていただけた
ら幸いです。

あとがき

各地域の秋祭りやイベント
がコロナ禍前の盛り上がりを見
せ、稲刈りも終わりを迎えて
います。行楽の秋は紅葉狩
り、自然いっぱい美しい里
山越後妻有で秋の味覚も楽し
みましょう。

9月議会は決算審査議会で
す。令和5年度の予算執行状
況を議会で審査しました。全
議員で慎重審議、検討を重ね
てまいりました。明るい未来、
市民の声が届く議会に。議会
だより編集委員会もより親し
みやすい、読みやすい、見や
すい議会だより作りに努めて
まいります。市民の皆様にい
ろいろ意見等、頂けたらと思
っております。

(山口 康司)

【お問い合わせ】

十日町市議会事務局

〒948-8501

十日町市千歳町3丁目3番地
市役所本庁舎3階

電話 025-757-3119

FAX 025-757-5999